

第3学年 地域創造学学習指導案

日 時 令和元年11月29日(金)
場 所 2・3年教室
児 童 第3年生10名
授業者 菅原久里子

1 単元名 「すごいな 住田のいいところ ～教えよう～」

2 単元について

(1) 題材について

3年生では、「地域のいいところ・すごいところ」をテーマに、自分が住む有住地区から住田町全体に学習範囲を広げ、最終的に有住と世田米を合わせた「住田のよさ」を児童が実感できるようにしていく。そのために、まず、世田米小学校と発表会をすることを伝え、1学期に見学した場所の中から自分の課題を見つけ、調べ活動を行う。そして、校内での準備や練習を経て、世田米小学校3年生と合同で自分の地区の「いいな・すごいな」について教え合い、実際に一緒にその場所に行ってみる。その後、住田全体についての「いいな・すごいな」についてまとめ、お互いの発表した「いいな・すごいな」について感想等を書いた手紙を送り合い、それを参考にしながら振り返りを行う。これらの活動を通して、地域を理解し、地域に愛着をもつ地域理解の力を育てたり、長い探究活動とまとめの発表を通して、最後までやり遂げた達成感や自己肯定感を味わわせたりしたい。

(2) 児童について

児童は、1年時に、種山で自然体験をしたり、近くの川で川遊びをしたりして住田の自然を満喫することができた。また、2年時には、町探検を行い、町のよさや地域の人々の思いなども感じることもできた。これらの学習活動を通して、有住地区の「いいところ・すごいところ」を体感してきている。

日常の学校生活においては、人前で発表することや、自分自身で考え、行動することが苦手な面も見られる。しかし、与えられた課題にまじめに取り組み、学習にも意欲的である。また、1学期に行った地域創造学のアンケートでは、10人中8人が創造の学習について「好き」、2人が「どちらかといえば好き」と答えているが、自分の考えを発表したり説明したりすることに関しては、2人が「どちらかといえばきらい」、4人が「どちらかといえばしていない」と答えている。3年生になり、複式学級の上学年となった児童は、リーダーとしての自覚も芽生え、発表することに対する苦手意識も徐々に改善されてきているが、まだ十分とはいえない。現在は、学習の中に自分の考えを話す活動や説明する活動を多く取り入れ、子ども同士の認め合いやアドバイス、教師からの声かけなどを行い、児童が抵抗感なく発表できるよう支援を行っているところである。

(3) 指導にあたって

本校では、地域創造学において「自ら思いをもち、主体的にかかわる児童の育成」を目指している。本単元の指導にあたって、児童が伝えたい場所について「なぜその場所を教えたいのか」「一番伝えたいことは何なのか」「どのように発表すればよいのか」を考えさせ、「～だからいいと思う。～だからすごいと思う。～を伝えたい。このように発表したい。」という自分の思いを明確にさせるようにしていきたい。そして、そのことから、長い探究活動や発表に向かう姿勢を、児童の主体的なものにさせていくようにして

いきたい。また、探究活動やまとめの際には、児童が場所の情報収集に終始することのないよう、そこに
関わる人の思いやエピソード、そのことについての自分の思いにも考えを及ぼせられるように支援を行っ
ていきたい。また、学校内での練習や互いの発表を聞き合う場面では、「発表者の一番伝えたいことは何
か」という内容面に目を向けさせ、発表技能のみに感想が終始しないようにさせたい。発表会の設定につ
いては、社会科見学で「町民のみんなが使う場所」と教えてもらった住田町役場の「町民ホール」で、お
世話になった方々も招待して行いたい。そして、自分たちの学習の成果を発表するとともにそれについて
の感想をいただき、振り返りにつなげていきたい。まとめの場面ではお互いの発表を基に住田町全体の
「いいな・すごいな地図」を作り、住田町全体についての理解や愛着をもたせていきたい。単元の終末で
ある本時は、まず、世田米小学校からの手紙や、役場や町の方からの感想を読ませ、「自分の発表が伝わっ
た」という実感や喜びをもたせる。次にペアで思いや考えを交流させ、さらに実感や喜びを味わわせる。
学び合いでは、有住のよさが伝わったことや自分の思いや考えを分かってもらえた喜びをたくさん出し合
い、全員に共有させる。そして、ずっと学習活動を見てきた校内の先生に児童の頑張りや成長について感
想を話してもらい、これまでの長い学習過程を振り返らせ、最後までやり遂げた実感をもたせる。これら
の活動を通して、自己肯定感と達成感を味わわせ、今後の日常生活や3学期の学習へとつなげていき
たい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

	資質能力の分類	資質能力別の目標
社会的実践	A【地域理解】	○住田ならではのよさについて理解を深め、そのよさを感じながら積極的に 関わることができる。
	B【社会参画に関する資質能力】	○各所の特色について、相手意識をもって表現し、様々な見方、考え方に気 付き、取り入れることができる。
	C【人間関係形成に関する資質能力】	○名所に対する地域の人々の思いを感じ取るとともに、友達と協働して活動 することができる。
	D【自律的活動に関する資質能力】	○課題の解決に向けた取り組みの進捗状況を振り返り、現状を認識しなが ら、これからの学びに必要なことに取り組むことができる。

(2) 評価基準

資質能力		評価規準
A	◎地域理解	【地理】 ・地域全体の名所について理解を深め、そのよさを感じ、積極的に関わるこ とができる。
B 社会参画に 関する 資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】 ・自分にとって価値ある課題について計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】 ・比べたり、分類したり、疑問をもったり、よいところに気付いたり、取り入 れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信 する力	【☆提】 ・捉えた町のよさがよりよく伝わるようにまとめ方を選び、発信すること ができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】 ・地域全体の名所に関心をもち、積極的に関わるすることができる。
	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】 ・活動がうまくいかない時にも、原因を考え、改善して最後までやり遂げるこ とができる。

C 人間関係形成に 関する資質能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べる内容や学んだ内容の伝え方を、理由や事例を挙げながら、相手意識をもってまとめたり発表したりできる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・課題を追求するために、思いや願い、考えを交流しながら、友達と協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・互いの学校児童の話から、名所に関する地域の人々の思いを感じ取ることができる。 ・地域全体の名所の「いいな」「すごいな」について感想を話したり書いたりできる。
D 自律的活動に 関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・課題の解決に向けた取り組みの進捗状況を振り返り、自分の現状を認識し、これからの学び方や活動に必要なことに取り組むことができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域のよさを自分なりの方法で表現することを楽しむことができる。 ・地域全体のよさを自分なりの方法で表現することを楽しむことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分が住んでいる地区の「すごいな」「いいな」を伝えられたことを実感し、自分のよさに気づき、今後に生かそうとすることができる。

4 単元の指導・評価計画（本時 第30時／全30時間）

月	小単元名	プロセス	時	主な学習活動	関連する 教科・領域	評価項目 (評価方法)
8・9	すごいな 住田のいいところを教えよう	課題への気持ち・課題設定	1	○単元の学習を見通し、課題を設定する。 ・これまでの学習から伝えたいことを発表し合い、単元の課題を設定する。 <u>住田の「いいね」を教え合おう。</u>		・B1 ☆見通す力 (チェックリスト)
		計画をする・見直しをもつ	5	○調べたいことの中から伝えたいことを選び、どのようにまとめるか話し合う。 ・内容はこれでいいか、グループ分けはこれでいいか考え、発表の「テーマ」を決める。足りない情報があったら、再度調べることを確認する。 ・社会科見学で行く住田町役場で調べ学習を行うことを決める。 ・下有住公民館で調べ学習を行うことを決める。	【国語「伝えよう、楽しい学校生活」】	・B2 ☆多角的・多面的な 考え方 (ルーブリック) ・D1 ☆感じ取る力 (チェックリスト)
		実施・改善①	5	○足りない内容について調べ学習を行う。 ・社会科見学の際に、役場の方にインタビューを行う。 ・下有住公民館で、公民館長さんにお話をうかがう。	【社会科「ガイドインタビューの仕方」】	・D1 ☆感じ取る力 (チェックリスト)
			3	○グループ内で発信の仕方について考え、練習をする。 (どのような伝え方が分かりやすいか) (相手が楽しく聞ける工夫はないか) (役割分担をどうするか)		・D2 ☆創出する力 (チェックリスト) ・C2 ☆協働する力 (チェックリスト)
		見直しをもつ	1	○交流についての計画をたてる。 (どのように交流するか) (どこで交流するか) (ほかに伝えたい人はいないか)	【国語「学習をひろげよう たいせつなまとめ」「つたえよう 楽しい学校生活」】	・B1 ☆見通す力 (チェックリスト)

10 11	す い な 住 田 の い い ね を 教 え よ う に す	実 施 ・ 改 善 ②	2	○互いの学校への発信に向けて、校内で発表を聞き合い、アドバイスをもらう。		・B2 ☆多角的・多面的な見方 (チェックリスト)
			2	○アドバイスをもとに、よりよい発信になるように修正する。		・B5 ★困難を解決しようとする心 (チェックリスト)
			2	○発表本番に向けて練習をする。 ・場所や相手を想定し、実際のイメージをもって練習する。		・B3 ☆提案・発信する力 (チェックリスト)
			5	○互いに調べたことを発表し合う。 ・町民ホールで、お互いの地域の「いいね」を発表し合う。 ・発表についての振り返りを行う。 ○発表後、実際に「いいね」の場所へ行き、案内し合う。	【国語「よい聞き手になろう」】	・C1 ☆伝え合う力 (チェックリスト)
		12	ま と め ・ 振 り 返 り	2	○お互いの発表への感想を手紙に書いて伝え合う。 ・メモや資料をもとに、発表の「内容」「よさ」に目を向けて世田米小学校3年生に手紙を書く。	【国語「ありがとうをつたえよう」】
1	○住田町全体の「いいね」についてまとめる。 ・世田米小学校・有住小学校両方の発表から、住田町全体の「すごいな 住田のいいところ地図」を作成する。					・A ◎地域理解 (チェックリスト)
1 (本時)	○自分たちのこれまでの活動や発表について振り返る。 ・世田米小学校の3年生、来てくださった方の感想を知り、それも含めた振り返りを、ワークシートに記入する。				・D3 自己肯定感 (チェックリスト)	

5 本時の指導

(1) 目標

「有住のいいね」を伝えられたことを実感し、自己肯定感を高めることができる。

【D3 自律的活動に関する資質・能力 3★自己肯定感】

(2) 評価について

○本時のルーブリック（ワークシート）

パフォーマンス課題		・これまでの活動や発表を振り返り、「有住のいいね」を伝えられたことを実感したり、自己肯定感の高まりを感じたりする。
みとる資質・能力		D3 自律的活動に関する資質・能力 ★自己肯定感
パフォーマンスの特徴	A	・「有住のいいね」を伝えられたと実感したことを、自分の思いや、手紙や感想を基に表現している。また、これまでの活動について振り返り、自分の頑張りを認めたり、自分の成長に気付いたりし、今後の学習や学校生活に生かそうとする前向きな記述をしている。
	B	・「有住のいいね」を伝えられたと実感したことを表現している。また、これまでの活動について振り返り、自分の頑張りを認めたり、自分の成長に気付いたりしている。

C (支援の手立て)	・自分が特に伝えなかった部分はどこか、振り返させる。また、それは手紙や感想のどの部分に表われているのか気付かせ、それを見てどんな気持ちになったのか考えさせる。
-----------------------------	---

(3) 展開

段階	学習活動・学習内容	※指導上の留意点 ◆評価
導入 7分	1 前時の学習の想起をする ・映像、写真、資料から、発表会の様子を想起する。 ・発表会での自分たちの発表について振り返る。 2 学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「住田のいいね」を教え合う学習をふりかえろう。 </div>	・映像、写真、資料などで発表の様子を詳しく思い出させる。 ・ワークシートの自己評価と感想を見直させ、発表会直後の自分の気持ちを思い出させる。
展開 28分	3 自分の考えをもつ ・世田米小学校3年生からの手紙、役場や町の方からの感想を読み、自分たちの発表についての評価を読み取る。 ・手紙や感想を基に、自分で思ったことや感じたことについてワークシートに記入し、ペアで交流する。 5 学び合いをして深める ・全体で感想を交流し合う。	・手紙や感想を読む視点を明らかにし、本時のねらいに迫ることができるようにする。 ・ペアでそれぞれ赤鉛筆、青鉛筆を持ち、「伝わった」ということが感じられる部分にそれぞれ線を引かせる。 ・どのような記述から「伝わった」と思ったか、うれしいと思ったのはどんな記述だったかということについてワークシートに記入し、互いに発表させる。 ・まずは自分の感想を話す、友達の感想を聞いて「なるほど」と思ったことは自分の感想に取り入れることも、交流の際には大切であることを話す。 ・自分の見方と違う見方も受容できるよう声がけをする。 ・どのペアにも発表させ、それぞれに感じ方やそれに対する受け取り方があることに気付かせる。 ・「伝わった」と思ったところ、うれしいと思ったところをたくさん発表させることで、有住のよさをわかってもらえたことのうれしさを共有させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・校長先生のお話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習活動を見てきた校長先生に，児童の頑張りや成長について感想を話してもらい，さらに自己肯定感を高めさせる。
<p>まとめ</p> <p>13分</p>	<p>6 学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題について振り返り，ワークシートに記入する。 ・振り返ったことを発表する（数名）。 <p>7 今後の学習活動について確認する。</p>	<p>◆評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「有住のいいね」を伝えられたことを実感することができたか。（ルーブリック） ・自分の考えをもつ段階でワークシートに記入したことを基に，本時の学習感想をまとめることができたか。（ワークシート・ルーブリック） ・3学期には，「有住のいいね」の一つである伝承芸能活動に取り組むことを告げる。